

令和6年版



消防統計

西条市消防本部

目 次

令和6年の数字は**19%**

火災統計 1P

令和6年の数字は**44%**

救急統計 8P

令和6年の数字は**23%**

救助統計 13P

火災統計

令和6年火災概要

出火件数：27件

建物火災件数：16件

火災損害額：49,764千円



令和6年の数字は、

19%

令和6年中の出火原因は、こんろが4件と最も多く、次いでマッチ・ライターが2件となっています。全国的にもこんろによる火災が出火原因の上位を占めています。

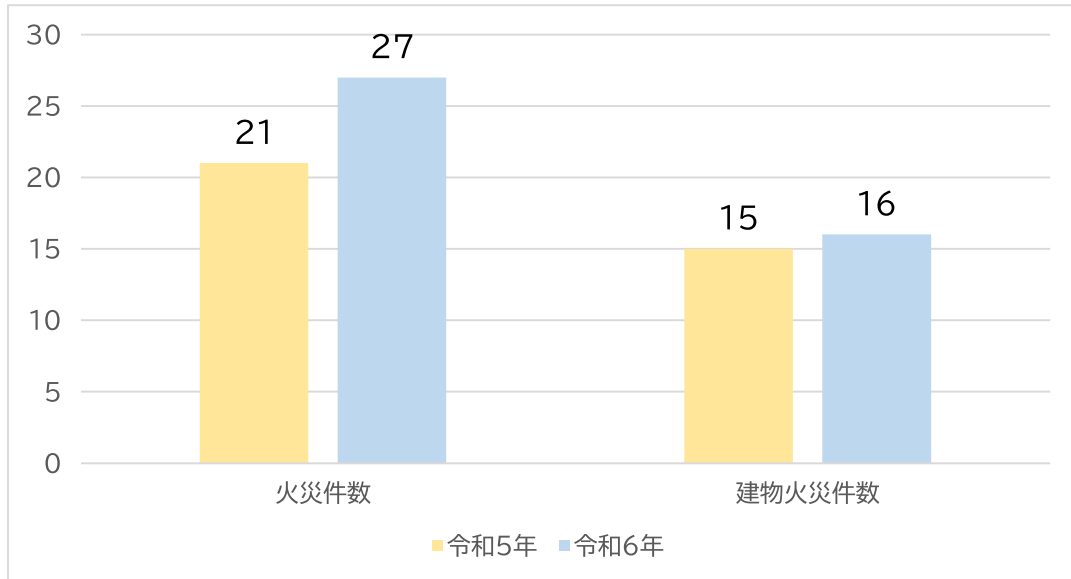
こんろを使うときは火のそばを離れないよう習慣化し、うっかり放置することがないようにしましょう。

19%は、建物火災において、出火原因「こんろ」の占める割合です。

【令和6年 西条市火災統計】

1 火災概要

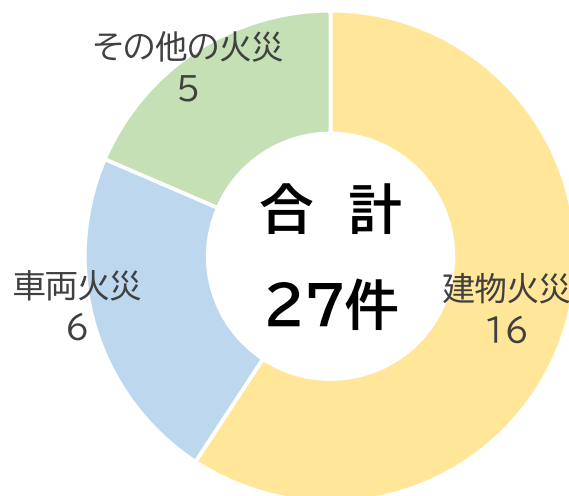
令和6年中における火災の状況は、火災件数27件(前年比6件増)、建物火災件数16件(前年比1件増)となっています。



2 火災状況

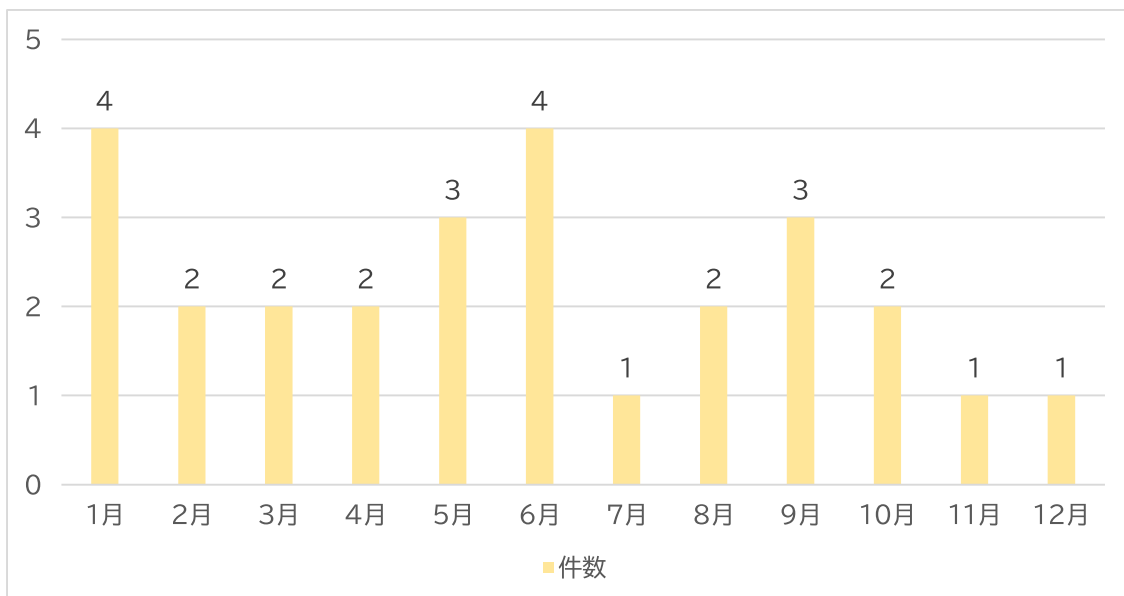
(1) 火災種別

火災種別ごとに件数をみると、建物火災が16件で約6割を占めており、次いで車両火災が6件、その他の火災が5件となっています。



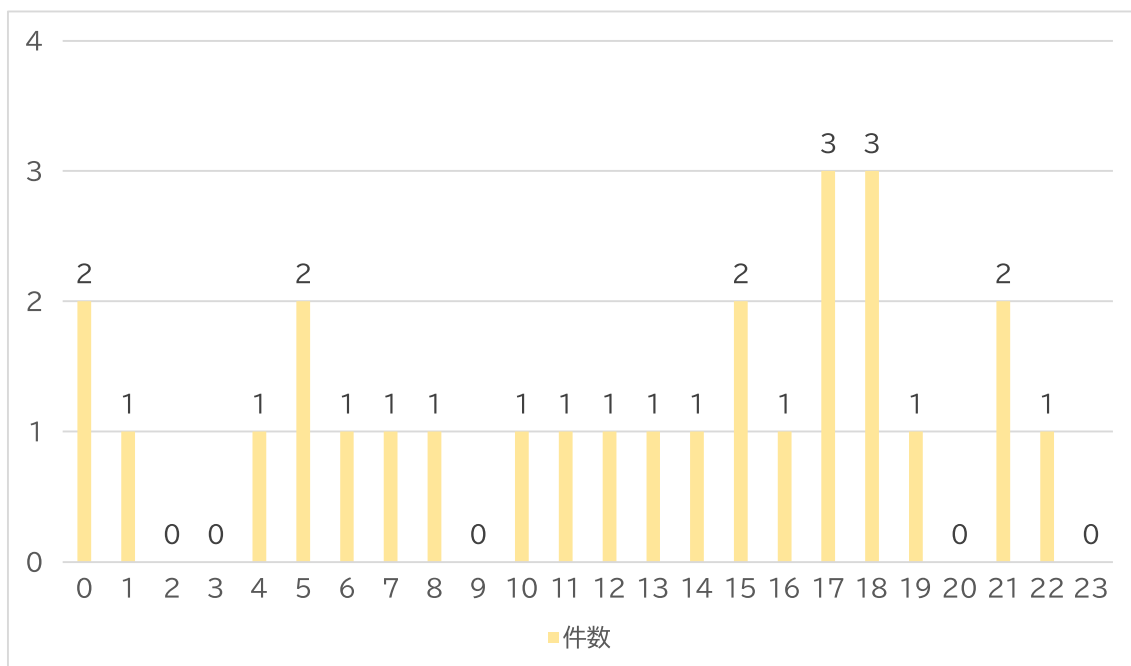
(2) 月別火災件数

火災件数を月別にみると、1月及び6月(4件)が最も多く、7月、11月、12月(1件)が少ない月となっています。



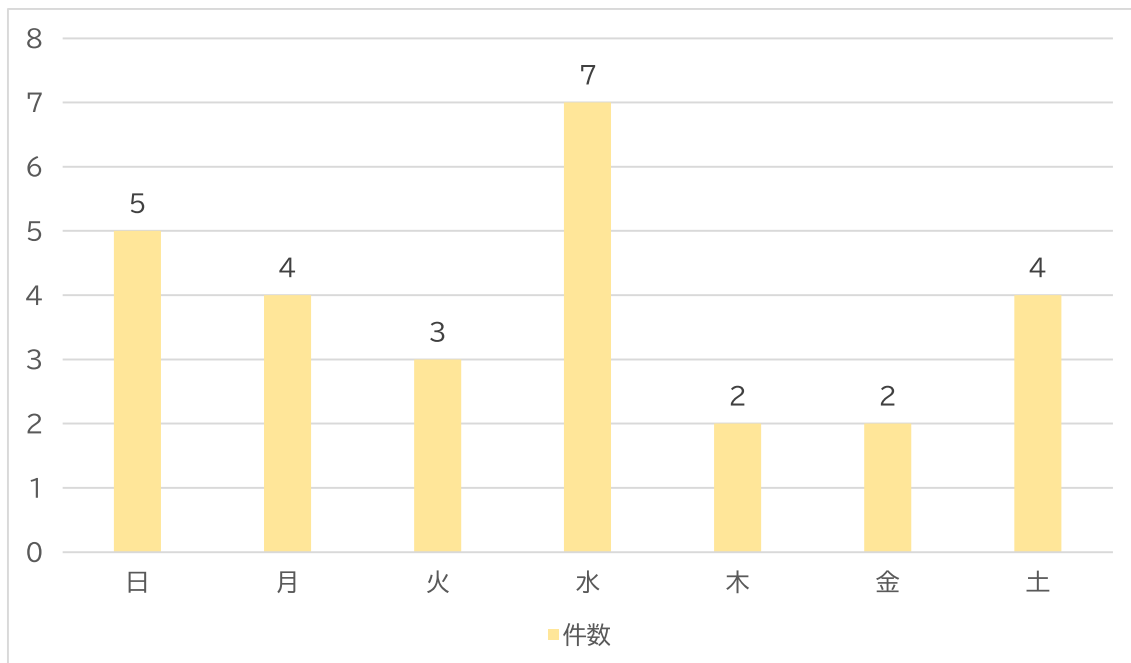
(3) 時間帯別火災件数

火災件数を時間帯別にみると、17時台と18時台(3件)が最も多く、夕食時間帯の出火が多い結果となっています。



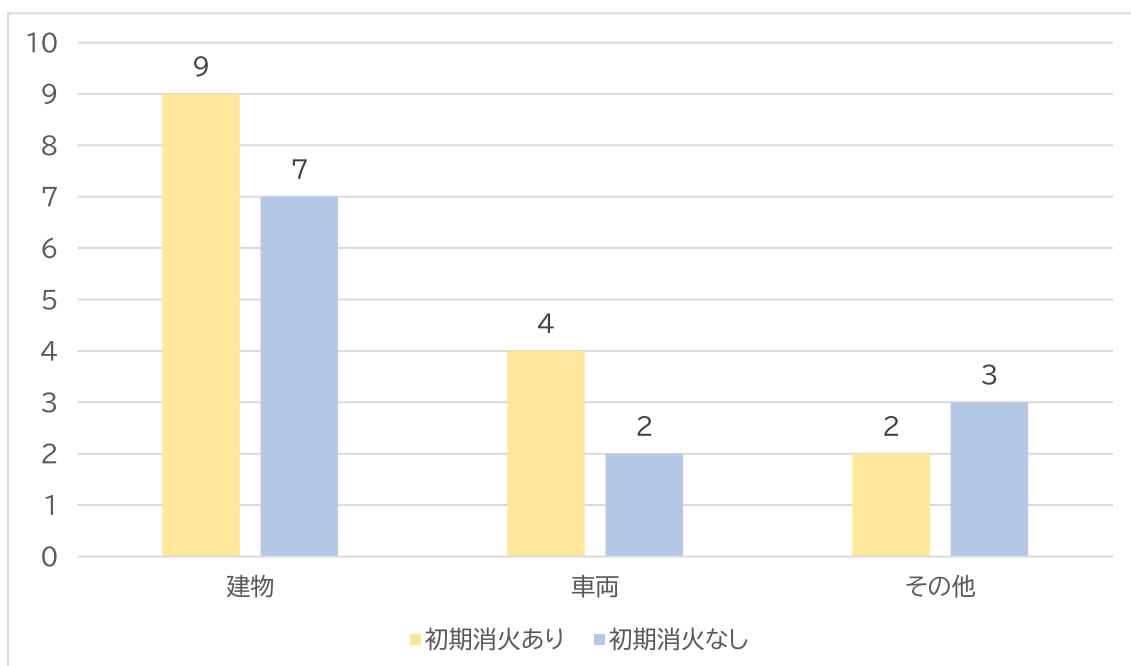
(4) 曜日別火災件数

火災件数を曜日別にみると、水曜日(7件)が最も多く、次いで日曜日(5件)が多くなっています。

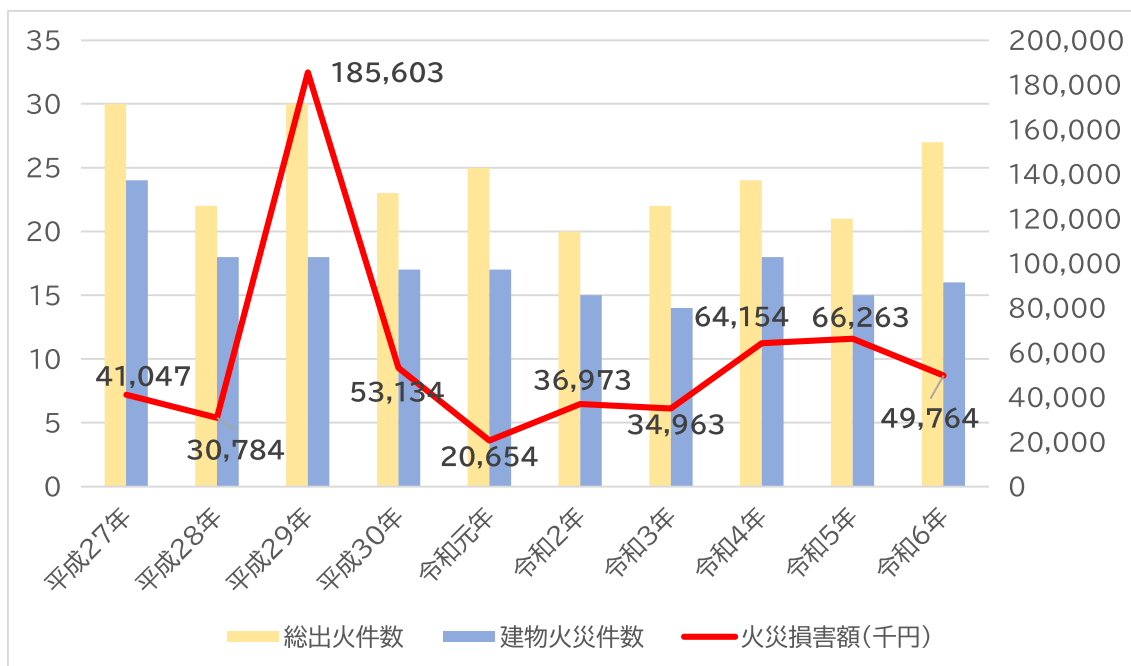


(5) 初期消火の状況

初期消火の状況を見ると、火災件数 27件のうち、15件は初期消火を実施しており、実施に至っていない件数については、12件となっています。



(6) 過去 10 年の火災概況(総出火件数、建物火災件数、火災損害額)

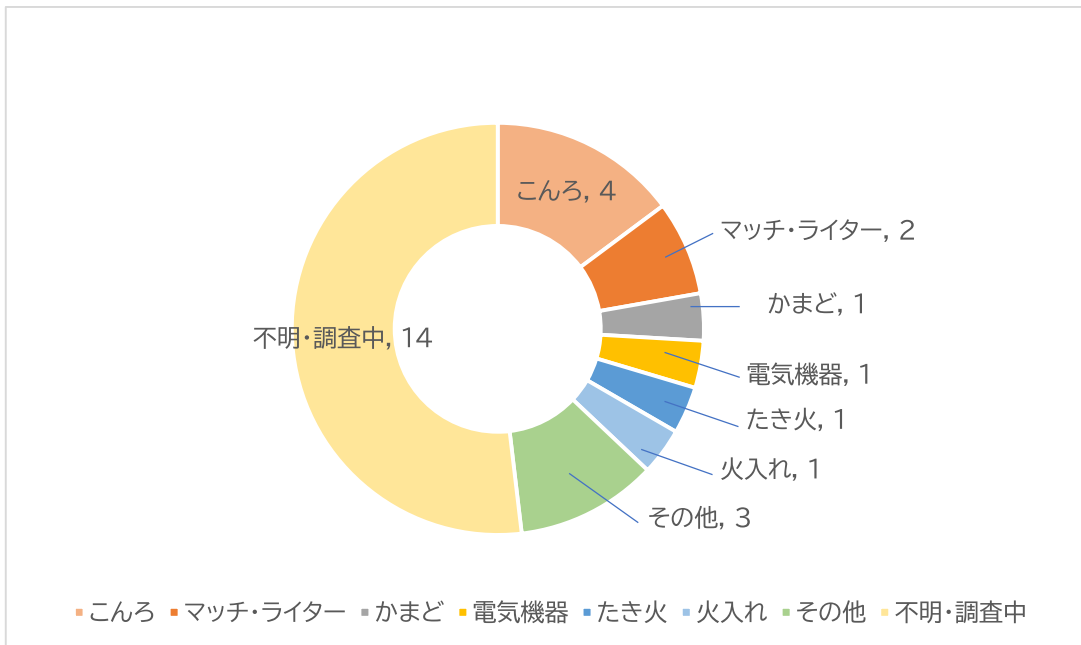


| 年 | 総出火件数 | 建物火災件数 | 火災損害額 (千円) |
|-------|-------|--------|------------|
| 平成27年 | 30 | 24 | 41,047 |
| 平成28年 | 22 | 18 | 30,784 |
| 平成29年 | 30 | 18 | 185,603 |
| 平成30年 | 23 | 17 | 53,134 |
| 令和元年 | 25 | 17 | 20,654 |
| 令和2年 | 20 | 15 | 36,973 |
| 令和3年 | 22 | 14 | 34,963 |
| 令和4年 | 24 | 18 | 64,154 |
| 令和5年 | 21 | 15 | 66,263 |
| 令和6年 | 27 | 16 | 49,764 |

(7) 令和6年の出火原因

令和6年の出火原因別にみると、こんろが4件で最も多く、次いでマッチ・ライターが2件となっており、不明・調査中が14件となっています。

また、西条市の過去10年における出火原因をみると、たき火での出火が多くなっており、特に注意する必要があることがわかります。全国的にみても、近年では、たばこ及びたき火での出火が多くなっています。



西条市の過去 10 年における出火原因

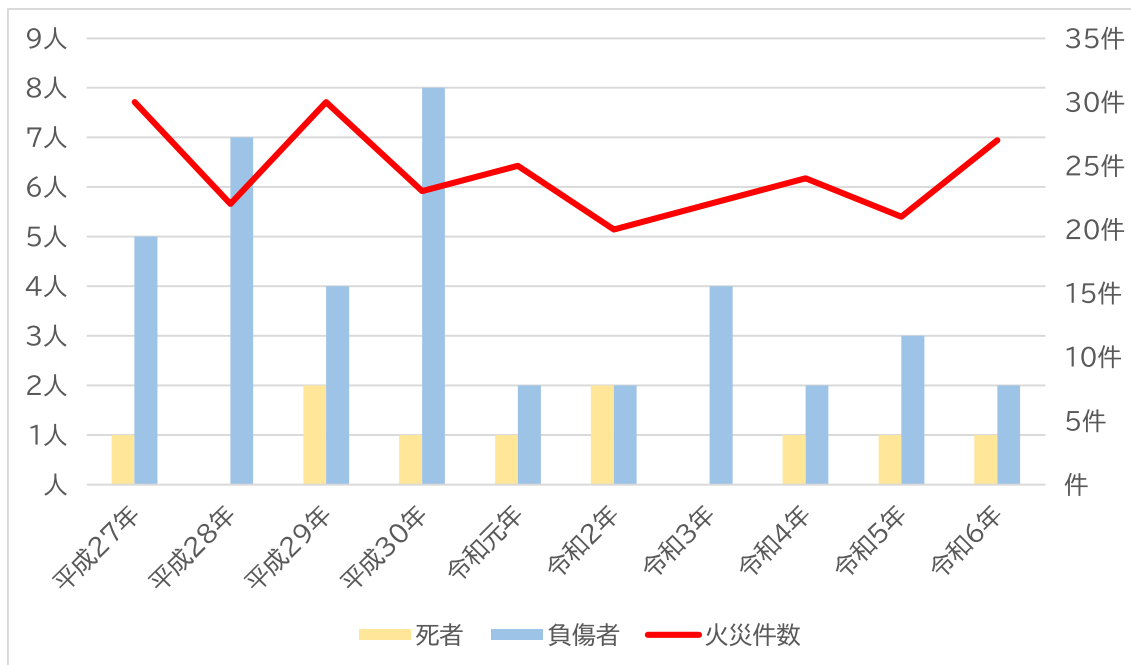
| 年 | 最も多い出火原因 |
|-------|----------|
| 平成27年 | たばこ |
| 平成28年 | たばこ |
| 平成29年 | たき火 |
| 平成30年 | たき火 |
| 令和元年 | たき火 |
| 令和2年 | たき火 |
| 令和3年 | こんろ |
| 令和4年 | たき火 |
| 令和5年 | たき火 |
| 令和6年 | こんろ |

近年における全国の出火原因

| 年 | 1位 | 2位 |
|-------|---------|------|
| 平成27年 | 電気機器の配線 | ストーブ |
| 平成28年 | ストーブ | たばこ |
| 平成29年 | 放火 | たばこ |
| 平成30年 | たばこ | たき火 |
| 令和元年 | たばこ | たき火 |
| 令和2年 | たばこ | たき火 |
| 令和3年 | たばこ | たき火 |
| 令和4年 | たばこ | たき火 |
| 令和5年 | たばこ | たき火 |

(8) 過去10年の死者、負傷者の状況

過去10年間の死者及び負傷者については、受傷頻度が変化していないことがわかります。

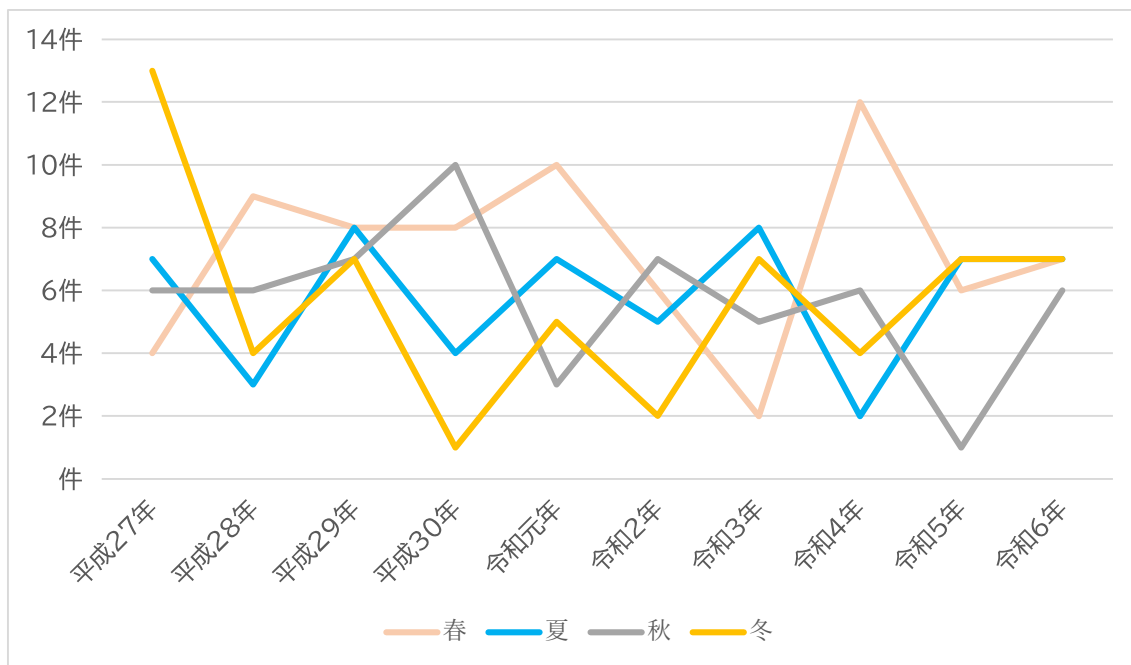


| | 平成27年 | 平成28年 | 平成29年 | 平成30年 | 令和元年 | 令和2年 | 令和3年 | 令和4年 | 令和5年 | 令和6年 |
|------|-------|-------|-------|-------|------|------|------|------|------|------|
| 死者 | 1人 | 0人 | 2人 | 1人 | 1人 | 2人 | 0人 | 1人 | 1人 | 1人 |
| 負傷者 | 5人 | 7人 | 4人 | 8人 | 2人 | 2人 | 4人 | 2人 | 3人 | 2人 |
| 火災件数 | 30件 | 22件 | 30件 | 23件 | 25件 | 20件 | 22件 | 24件 | 21件 | 27件 |

(9) 過去10年の四季別火災件数

(春3月～5月、夏6月～9月、秋10月～12月、冬1月～3月)

四季別の火災件数を比較すると、令和6年は、四季別変化はあまり見られないが、過去10年でみると、春の時期に出火件数が高い傾向にあることがわかります。



| | 平成27年 | 平成28年 | 平成29年 | 平成30年 | 令和元年 | 令和2年 | 令和3年 | 令和4年 | 令和5年 | 令和6年 |
|---|-------|-------|-------|-------|------|------|------|------|------|------|
| 春 | 4件 | 9件 | 8件 | 8件 | 10件 | 6件 | 2件 | 12件 | 6件 | 7件 |
| 夏 | 7件 | 3件 | 8件 | 4件 | 7件 | 5件 | 8件 | 2件 | 7件 | 7件 |
| 秋 | 6件 | 6件 | 7件 | 10件 | 3件 | 7件 | 5件 | 6件 | 1件 | 6件 |
| 冬 | 13件 | 4件 | 7件 | 1件 | 5件 | 2件 | 7件 | 4件 | 7件 | 7件 |

救急統計

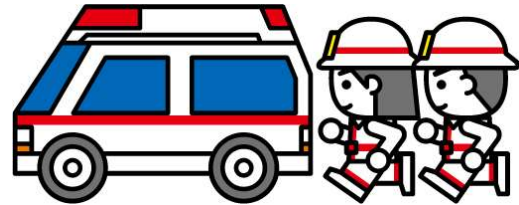
- 令和6年救急概要

出動件数 : 6978件

搬送人員 : 6220人



過去最多！



令和6年の数字は、

44%

救急出動の増加に伴い、救急医療がひっ迫しています。

搬送人員が6,220人に対して、軽症者が44%となっており、救急車を必要としない事案も多くみられます。

緊急を要しない場合、診療時間内にかかりつけ医を受診する、判断に迷った場合は#7119に相談するなど、救急車の適正利用にご協力をお願いします。

【令和6年 西条市救急統計】

1 救急概要

令和6年中における救急業務の実施状況は、救急出動件数 6,978件、搬送人員 6,220人となっており、過去最多となりました。

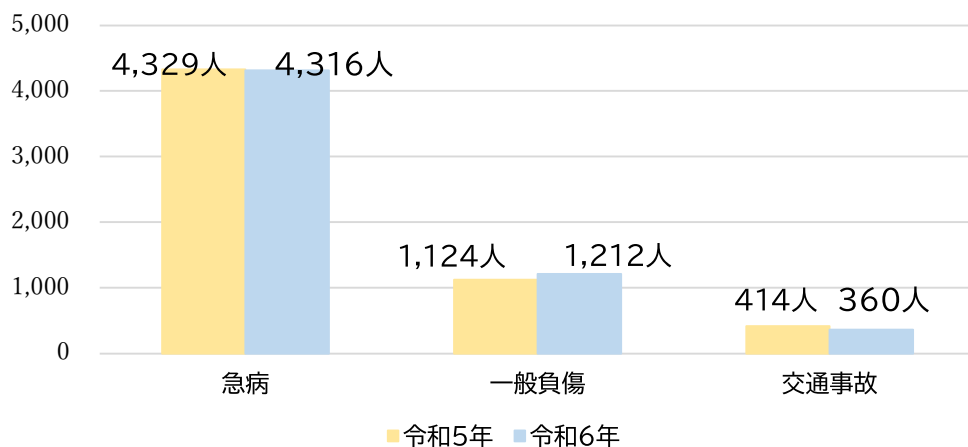
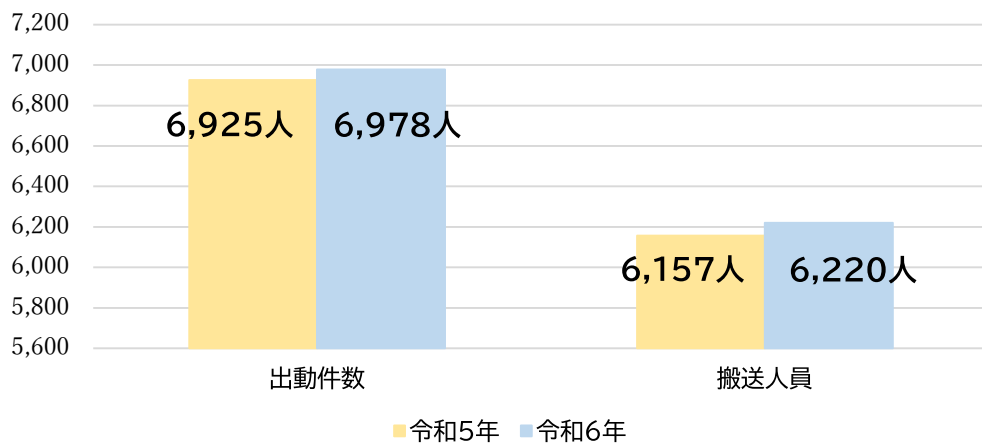
当市の1日当たりの救急出動件数は約 19.1件、搬送人員は約17人となっており、これは、年間に市民の約 17 人に1人が救急搬送されたこととなります。

事故種別の第1位は急病の 4,316件(61.9%)で、次いで一般負傷の1,212件(17.4%)となっています。

(1) 前年との救急件数・搬送人員の比較

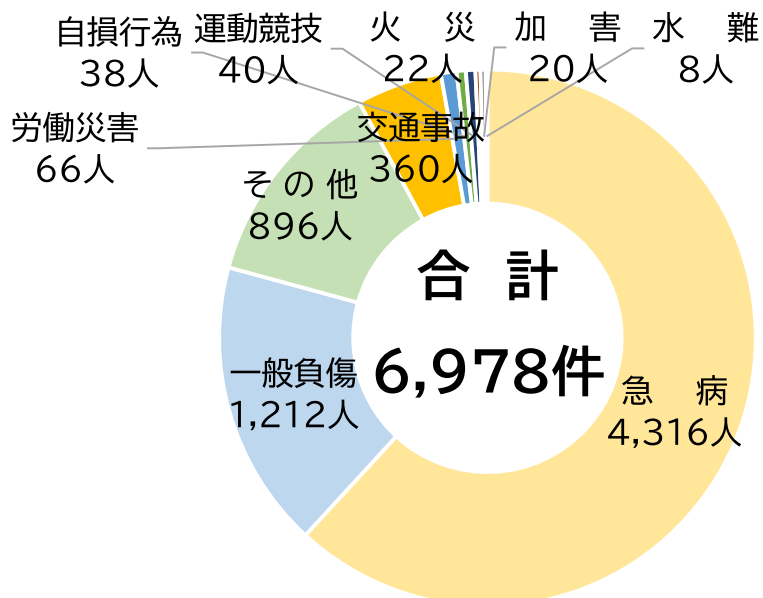
出動件数は前年比53件(0.8%)増加し、搬送人員も前年比63人(1%)増加しています。

事故種別でみると一般負傷が88件(7.8%)、運動競技が10件(33.3%)増加しており、交通事故が 88 件(7.8%)、急病が 13 件(0.3%)減少しています。



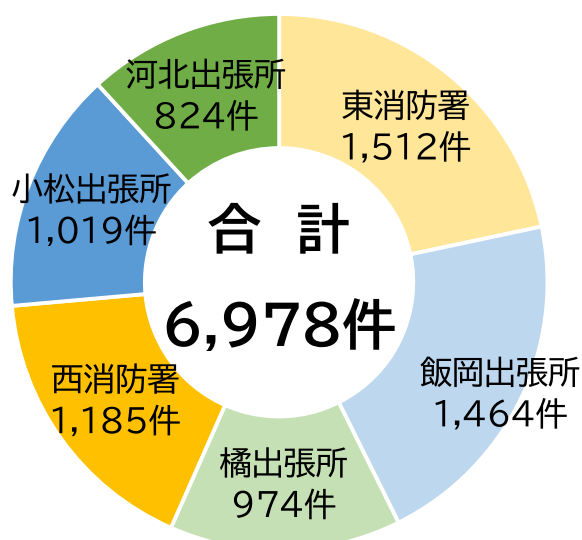
(2) 事故種別別の出動状況

事故種別別の内訳では、先に述べた急病、一般負傷、交通事故を除くとその他(転院搬送等)が多くなっており、次いで交通事故となっています。



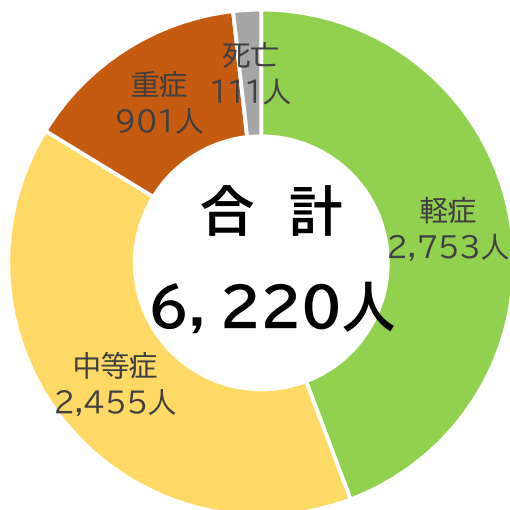
(3) 救急隊別の出動状況

東消防署では1,512件(21.7%)、次いで飯岡出張所は1,464件(21%)、西消防署は1,185件(17%)、小松出張所は1,019件(14.6%)、橘出張所は974件(13.9%)、河北出張所が824件(11.8%)となっています。



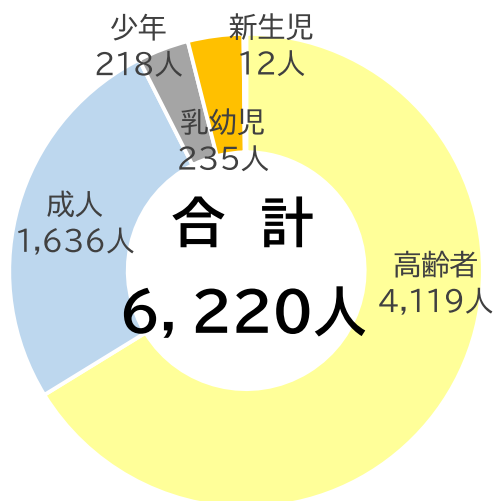
(4) 傷病程度別の搬送状況

入院加療を必要としない軽症が 2,753人(44.3%)と最も多くなっています。重症または軽症以外のものである中等症については 2,455人(39.5%)、3 週間以上の入院加療を必要とする重症では 901人(14.5%)となっています。

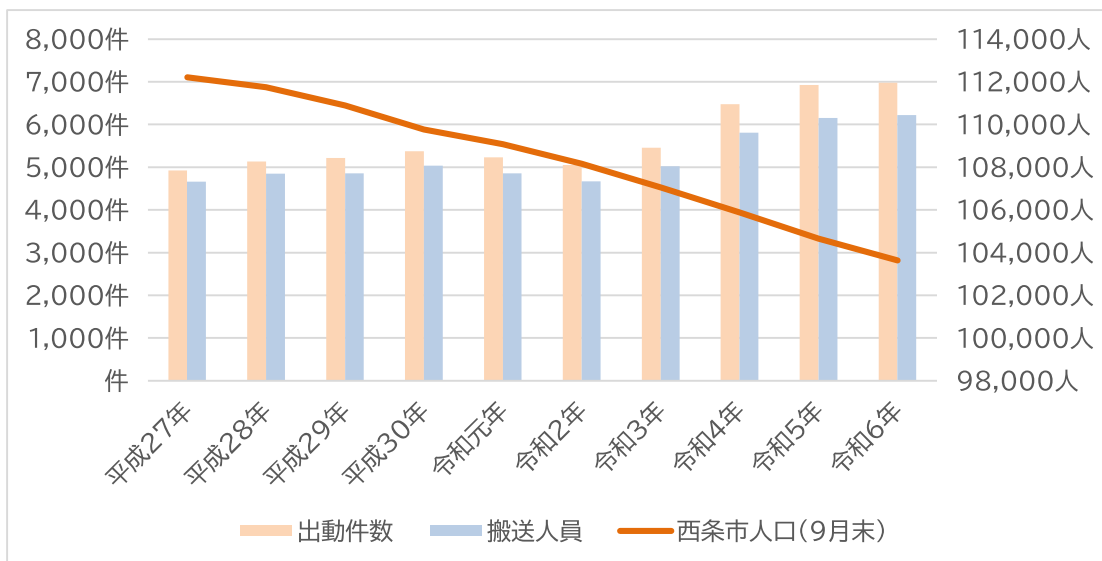


(5) 年齢別の搬送状況

高齢者(満 65 歳以上)が 4,119人(66.2%)と最も多く、次いで成人の 1,636人(26.3%)となっています。

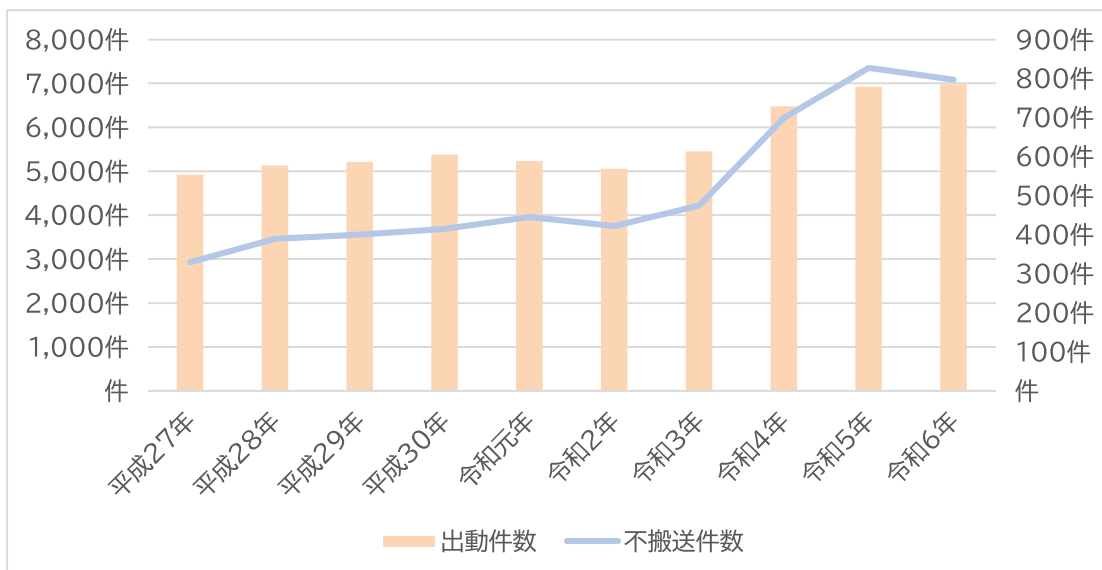


(6) 過去10年の救急出動件数及び搬送人員、西条市の人口の推移



| | 平成27年 | 平成28年 | 平成29年 | 平成30年 | 令和元年 | 令和2年 | 令和3年 | 令和4年 | 令和5年 | 令和6年 |
|-------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|
| 出動件数 | 4,922件 | 5,130件 | 5,213件 | 5,375件 | 5,234件 | 5,054件 | 5,454件 | 6,476件 | 6,925件 | 6,978件 |
| 搬送人員 | 4,664人 | 4,851人 | 4,855人 | 5,034人 | 4,859人 | 4,669人 | 5,019人 | 5,811人 | 6,157人 | 6,220人 |
| 西条市人口 | 112,215人 | 111,745人 | 110,887人 | 109,768人 | 109,071人 | 108,162人 | 107,052人 | 105,879人 | 104,655人 | 103,639人 |

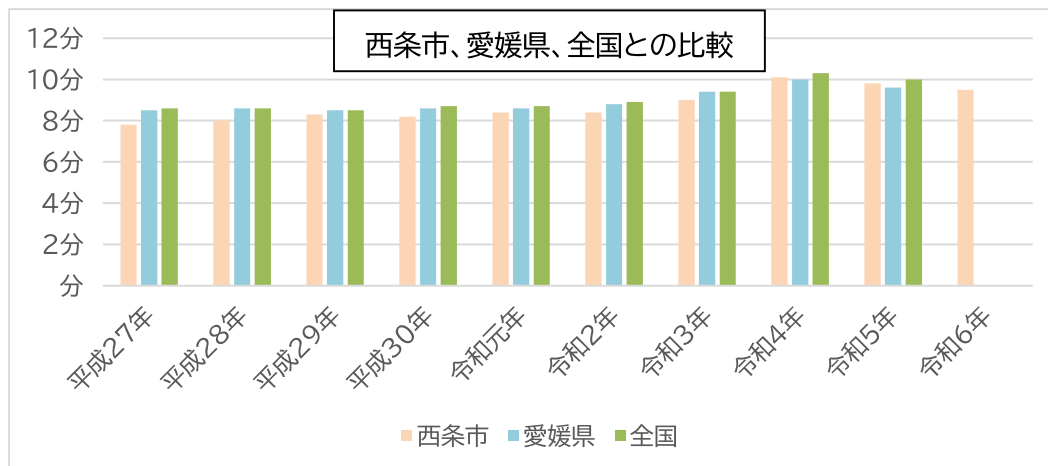
(7) 過去10年の出動件数、不搬送件数の推移



| | 平成27年 | 平成28年 | 平成29年 | 平成30年 | 令和元年 | 令和2年 | 令和3年 | 令和4年 | 令和5年 | 令和6年 |
|-------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 出動件数 | 4,922件 | 5,130件 | 5,213件 | 5,375件 | 5,234件 | 5,054件 | 5,454件 | 6,476件 | 6,925件 | 6,978件 |
| 不搬送件数 | 330件 | 389件 | 400件 | 415件 | 445件 | 422件 | 475件 | 699件 | 828件 | 797件 |

(8) 過去10年の覚知から現場到着までの平均所要時間の比較

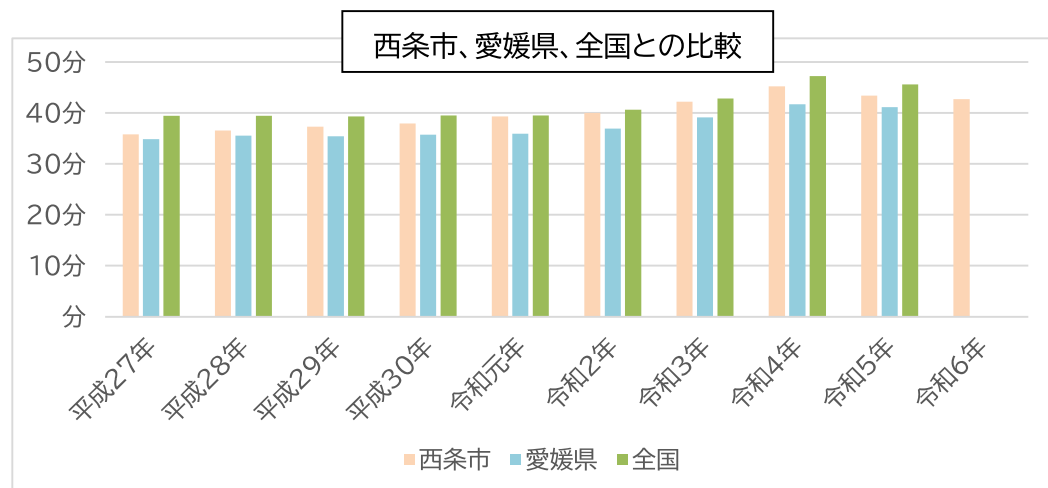
覚知から現場到着時間までの平均所要時間は、令和4年までは、西条市、愛媛県、全国ともに延伸傾向にあります。



| 覚知 現場 到着 | (単位:分) | 平成27年 | 平成28年 | 平成29年 | 平成30年 | 令和元年 | 令和2年 | 令和3年 | 令和4年 | 令和5年 | 令和6年 |
|----------------|--------|-------|-------|-------|-------|------|------|------|------|------|------|
| 西条市 | | 7.8 | 8.0 | 8.3 | 8.2 | 8.4 | 8.4 | 9.0 | 10.1 | 9.8 | 9.5 |
| 愛媛県 | | 8.5 | 8.6 | 8.5 | 8.6 | 8.6 | 8.8 | 9.4 | 10.0 | 9.6 | - |
| 全国 | | 8.6 | 8.6 | 8.5 | 8.7 | 8.7 | 8.9 | 9.4 | 10.3 | 10.0 | - |

(9) 過去10年の覚知から病院収容までの平均所要時間の比較

覚知から病院収容までの平均所要時間は、令和4年までは、西条市、愛媛県、全国において延伸傾向になっています。西条市と愛媛県を比較すると、県内の中でも病院収容までの時間を要する状況となっています。また、収容時間の差が開いていることがわかります。



| 覚知 病院 収容 | (単位:分) | 平成27年 | 平成28年 | 平成29年 | 平成30年 | 令和元年 | 令和2年 | 令和3年 | 令和4年 | 令和5年 | 令和6年 |
|----------------|--------|-------|-------|-------|-------|------|------|------|------|------|------|
| 西条市 | | 35.8 | 36.5 | 37.3 | 37.9 | 39.3 | 40.0 | 42.2 | 45.2 | 43.4 | 42.7 |
| 愛媛県 | | 34.8 | 35.5 | 35.4 | 35.7 | 35.9 | 36.9 | 39.1 | 41.7 | 41.1 | - |
| 全国 | | 39.4 | 39.4 | 39.3 | 39.5 | 39.5 | 40.6 | 42.8 | 47.2 | 45.6 | - |

救助統計

- 令和6年救助概要
- | | |
|------|-------|
| 出動件数 | : 81件 |
| 活動件数 | : 60件 |
| 救助人員 | : 66人 |



令和6年の数字は、

23%

西条市では、石鎚山系の山々を管轄しており、昨今のアウトドアブーム等の影響により登山者が増加しています。

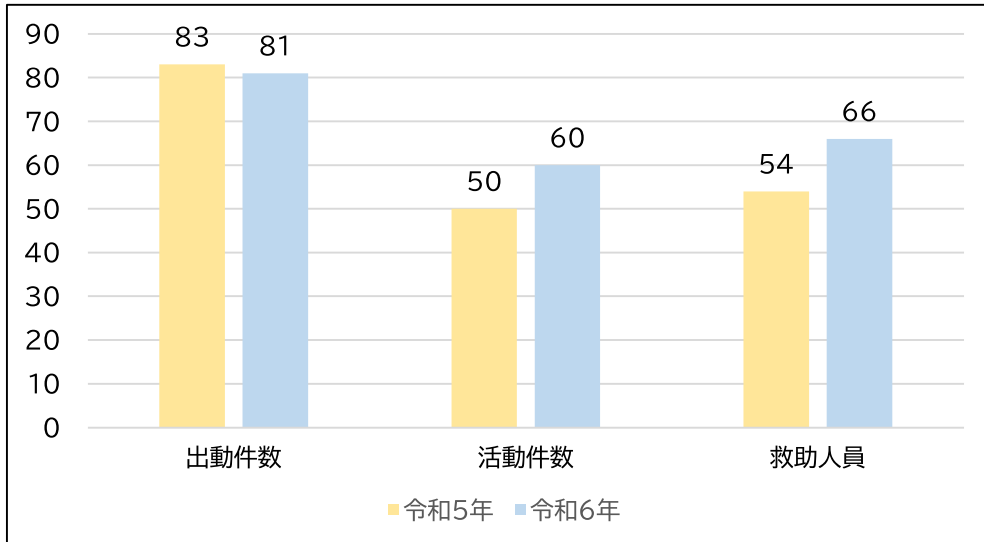
そのため、天候に関する不適切な判断や、不十分な装備で体力的に無理な計画を立てるなど、知識・経験・体力の不足等が原因で山岳遭難救助事案が19件（23%）発生しています。

自らの力を過信せず、十分な登山計画を立てて、登山等を楽しんでください。

【令和6年 西条市救助統計】

1 救助概要

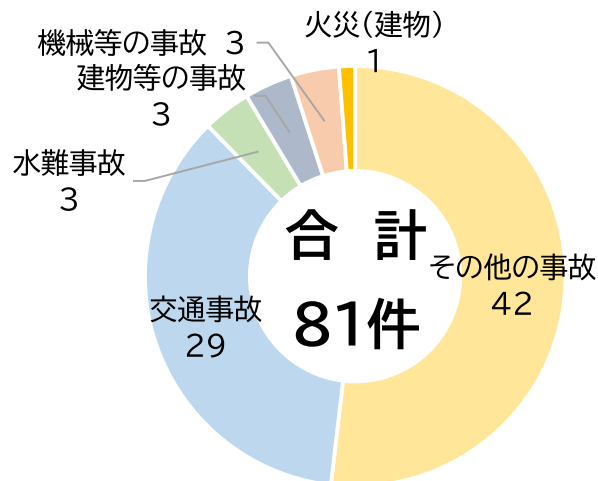
令和6年中における救助業務の実施状況は、救助出動件数 81件(前年比2件減)、救助活動件数60件(前年比10件増)、救助人員66人(前年比12人増)となっています。



2 救助活動状況

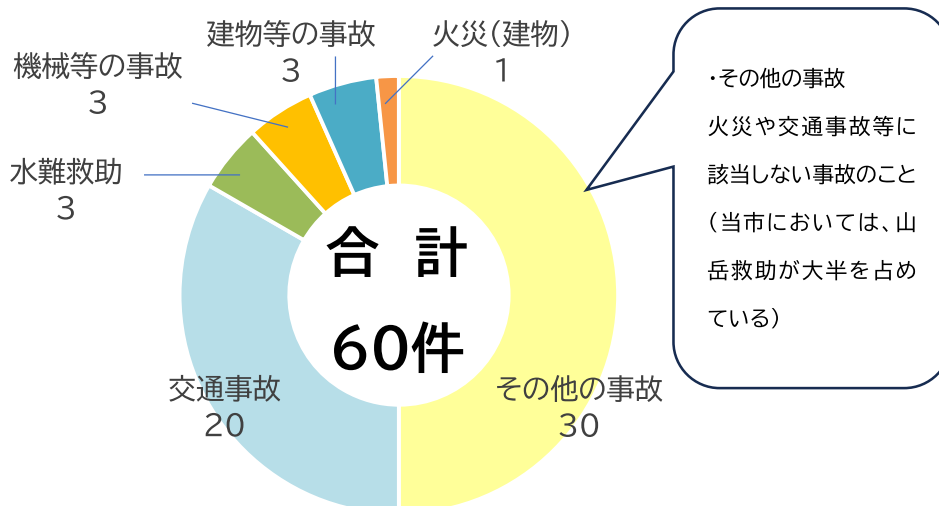
(1) 事故種別救助出動

事故種別ごとに救助出動状況を見ると、出動件数で最も多いのは、その他の事故 42件(51.9%)、次いで交通事故29件(35.8%)、水難事故3件(3.7%)、建物等の事故3件(3.7%)、機械等の事故 3件(3.7%)、火災(建物)1件(1.2%)の順となっています。



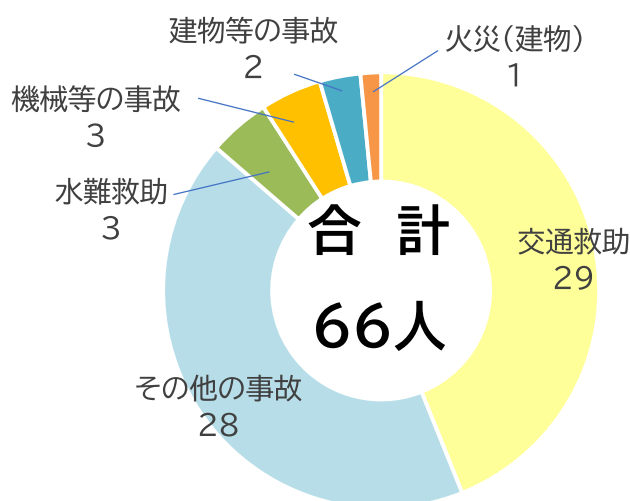
(2) 事故種別活動件数

活動件数で最も多いのは、その他の事故で30件(50%)、次いで交通事故20件(33.3%)、水難事故3件(5%)、建物等の事故3件(5%)、機械等の事故3件(5%)、火災(建物)1件(1.7%)の順になっています。

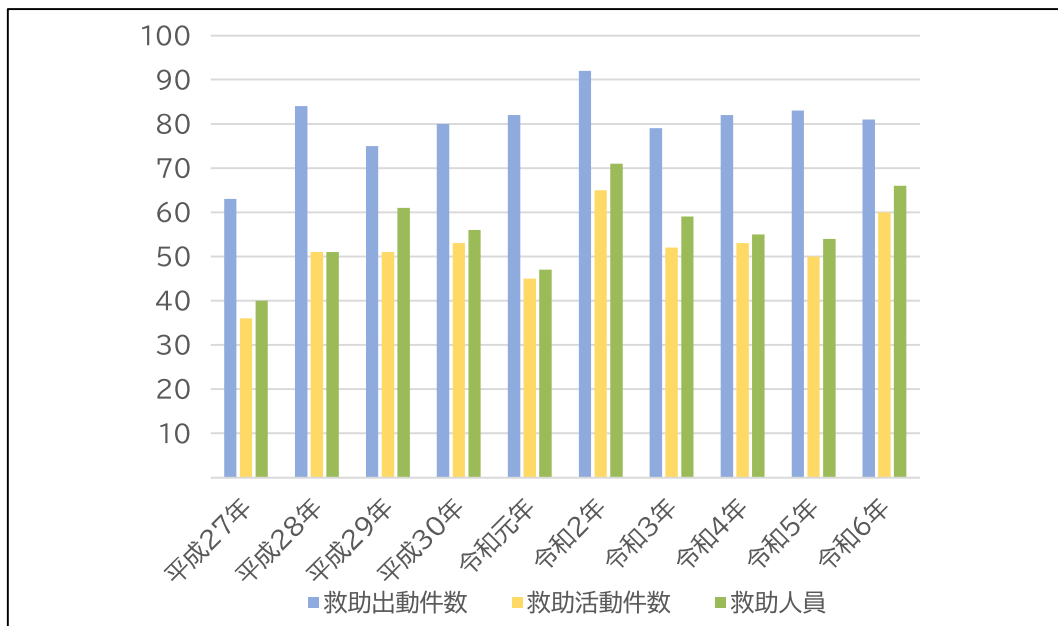


(3) 事故種別救助人員

事故種別ごとの救助人員状況を見ると、最も多いのは、交通事故 29 人(43.9%)で、次いでその他の事故28人(42.4%)、水難事故3人(4.6%)、建物等の事故3人(4.6%)、機械等の事故2人(3%)、火災(建物)1人(1.5%)の順となっています。

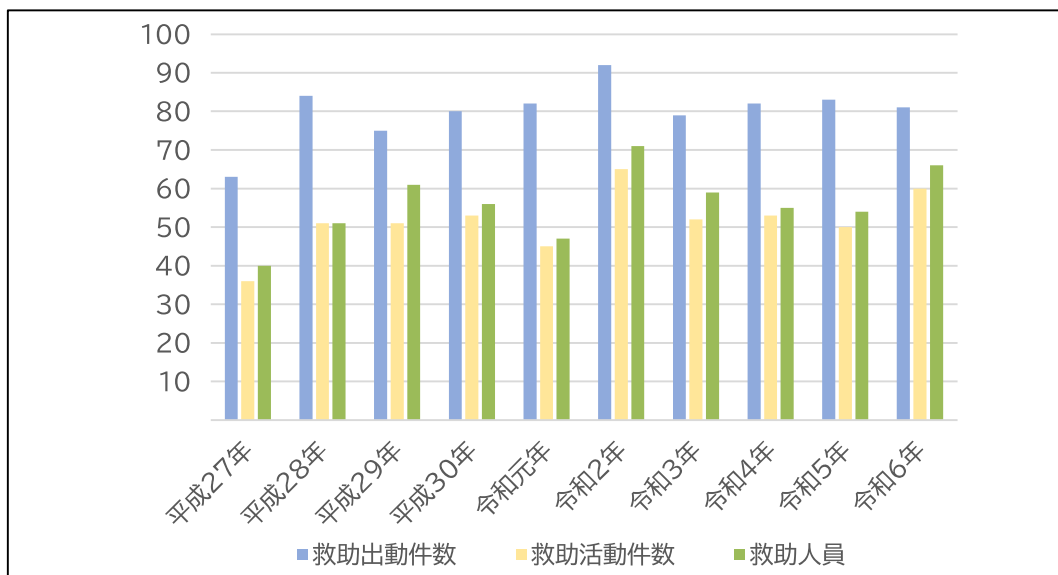


(4) 過去10年の救助出動件数及び救助活動件数、救助人員の推移



| | 平成27年 | 平成28年 | 平成29年 | 平成30年 | 令和元年 | 令和2年 | 令和3年 | 令和4年 | 令和5年 | 令和6年 |
|--------|-------|-------|-------|-------|------|------|------|------|------|------|
| 救助出動件数 | 63 | 84 | 75 | 80 | 82 | 92 | 79 | 82 | 83 | 81 |
| 救助活動件数 | 36 | 51 | 51 | 53 | 45 | 65 | 52 | 53 | 50 | 60 |
| 救助人員 | 40 | 51 | 61 | 56 | 47 | 71 | 59 | 55 | 54 | 66 |

(5) 過去10年の救助出動件数の内、山岳救助件数の推移



| | 平成27年 | 平成28年 | 平成29年 | 平成30年 | 令和元年 | 令和2年 | 令和3年 | 令和4年 | 令和5年 | 令和6年 |
|--------|-------|-------|-------|-------|------|------|------|------|------|------|
| 救助出動件数 | 63 | 84 | 75 | 80 | 82 | 92 | 79 | 82 | 83 | 81 |
| 山岳救助件数 | 11 | 14 | 11 | 5 | 14 | 18 | 15 | 14 | 13 | 19 |